

令和3年度活動計画(案)

事業視察のお知らせ

令和3年9月下旬開催予定

※コロナ収束の状況により内容変更あり

偉大なる先人たちの 歴史に触れよう!!

～那須野ヶ原～

世界かんがい施設遺産登録【那須疏水】

百聞は
一見に
如かず

私たちの目で、
確かな知識を、
そして活動の輪を
広げませんか?



伊藤博文・松方正義、烏ヶ森で説明を受ける



那須疏水工事



那須疏水西岩崎地点、満開の土手桜



蛇尾川サイフォン出口 模型

写真提供:
那須野ヶ原土地改良区連合

世界かんがい施設遺産とは..

地域の発展に貢献してきたかんがい施設の歴史や発展を明らかにし、その理解醸成を図ると共に、かんがい施設の適切な保全に資するため、2014年(平成26年)国際かんがい排水委員会(ICID)が創設した国際的な認定制度です。平成29年10月10日、先進的な技術を活用し築いてきた貴重な施設として、那須疏水が、栃木県内初の世界かんがい施設遺産に登録されました。

『とちぎ水土里ネット女性の会事務局』

宇都宮市平出町1260番地 Tel028-660-5701

皆さまからのご意見をお寄せください!

『女性の会』の私たちみんなが主役です!!

とちぎ水土里ネット

女性の会

創刊号 令和2年度
第1号

MIDORI NET TOCHIGI



とちぎ
水土里ネット



進藤参議院議員挨拶



金原参事兼農村振興課長挨拶

とちぎ水土里ネット
女性の会
設立総会を開催

令和2年9月3日、NN女子の期待を寄せた、『とちぎ水土里ネット女性の会』が設立しました。

全国各地で『女性の会』が設立される中、本県は18番目!! 関東圏内では、4番目です。

当日、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤参議院議員は、「地域資源を活用してこそ、新たな農村の形が見えてくる。そのためには、女性の力が非常に重要である。それを活かせる場の一つとして『女性の会』がある。」また、栃木県農政部の金原参事兼農村振興課長は、「豊かな農業農村の活性化の重要な役割を担うのは女子力であり、『女性の会』はその活躍の場であると思うので大いに期待するところ。」と激励の言葉をいただきました。



記念講演会

女性の視点から真の土地改良区を目指して!
～究極の生き残り作戦～

水土里ネット那須野ヶ原星野専務理事は、「生まれながらにして持つ男性と女性の脳梁の違いを理解した上で、“らしさ”と“役割”を上手く活用していくことが農村だけでなく社会全体を動かすことに繋がっていく。『女性の会』の役割は非常に大きい!!」と話され、私たち参加者は勇気づけられました。



とちぎ水土里ネット 女性の会

役員紹介 & メッセージ

Message



会長 石川 房代

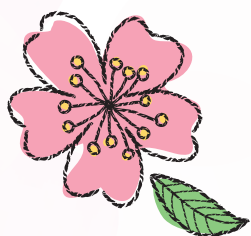
(小山用水土地改良区事務局長)

このたび「とちぎ水土里ネット女性の会」会長に就任いたしました小山用水土地改良区の石川と申します。

会が設立された2020年、未曾有の出来事による時代の大きなうねりを感じています。いま出来ること、目の前にある課題に向き合いながら対応していけたらと思っています。

時代にあった活動を通じて自己研鑽を重ね、女性が土地改良事業で輝ける環境づくりに取り組んでいきましょう(*^^*)

会員の皆様のご理解、ご協力、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



副会長 渡邊 和子

(大田原市土地改良区事務局長)

このたび、皆様のご承認をいただき「とちぎ水土里ネット女性会」の副会長の職をお引き受けすることになりました渡邊でございます。この大役が出来るか大変不安でございますが、役員、会員の皆様のご協力を頂きながら、多くの方々と交流できる機会を与えられたことを心から感謝し、少しでも本会の目的である、“女性が農業農村整備の中核を担える環境作りを進めることの一助”となるよう努めて参りたいと思います。現在、未曾有のコロナ禍ですべての人の生活が脅かされていますが、1人ひとりが自分を守るすべを身につけ、他者を気遣う気持ちを持ち続けることで自然に思いやる行動がとれるようにしたいものであります。



相談役 上山 貴代子

(市貝町土地改良区副理事長)

「とちぎ水土里ネット女性の会」設立おめでとうございます。ひとえにスタッフ、関係者一同のご尽力と感謝申し上げます。

今、農業は大変な危機、岐路にあります。農家は高齢化、後継者不在、就農はほぼ担い手に依存の状態、ところが担い手も年齢を重ねて効率的営農を優先させ、狭あい過疎地域は取り残されます。

そこで地域によっては農業経営基盤整備事業、農用地中間管理機構を併用し、改めて土地改良事業を模索しています。

農業は女性の力、共存なしでは成り立ちません。同様に中枢機関の土地改良区事務は女性職員皆様に委ねられています。

どうぞ、今後共、会員皆様一層の精進ご活躍を期待申し上げます。



相談役 星野 恵美子

(那須野ヶ原土地改良区連合専務理事)

どんな時も、常に女性と男性は互いの特徴を生かしつつ、共に生きてこそ命の継承が保証される。ところが、必ずしも平等とは言い難い変遷を辿ってきた不思議な歴史がある。奈良時代、平安時代には母権制社会だった。鎌倉～室町時代に政権が将軍に移ってから明治維新までは、父権制社会へと移っていく。1970年代から現代にかけては、女性の地位向上の運動とともに高いレベルへと移行しつつあるとはいえ、世界男女格差指数は121番目というレベルにあり、世界との格差は大きく、日本女性の社会地位はまだ低い。平等は責任も伴うが、地位向上の唯一の手法は女性自身の意識の変革そのものである。御会女子会の躍進を切に願う。

